

令和6年度

津南町学校給食センター



1月給食だより

今月の目標

食文化について考えよう

新年あけましておめでとうございます。
今年度も、残すところあと3か月となりました。
引き続き、毎日の給食時間が待ち遠しくなるような、
魅力ある給食作りに努めていきたいと思ひます。
本年もよろしくお願い致します。



新年の無病息災を願う

正月行事



お正月、黒豆や昆布、えび、きんとんなどの「おせち料理」を食べた人も多いと思ひます。それぞれの食材や料理に、家族みんなが健康で明るい1年を送れるようにと願ひが込められています。皆さんはお正月にどんなおせち料理を食べましたか。

給食でも1月は、まつかぜ焼きや五目なます、白玉のお雑煮、きんとんなどのお正月に食べられるメニューを実施します。

1月の和風月名は「睦月^{むつき}」です。これは、「みんなで仲睦まじくする月」ということから名付けられたようです。お正月が終わっても、1月には幸せを願うさまざまな行事が続きます。

七草がゆ



春の七草「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ」を入れたおかゆ。

1月7日の早朝（または前日夜）に、まな板の上に七草を並べて包丁で叩きながら、「七草なずな 唐土の鳥が 日本の国に 渡らぬ先に…」などと、七草ばやしを唱える風習があります。

※歌詞は地域や家庭によって異なります。

小豆がゆ



赤い色が邪気（病気や災難など）を払うとされる小豆を入れたおかゆ。

無病息災を願ひ、小正月の朝に家族全員でいただきます。小正月には、やぐらを組んで正月飾りや書き初めなどを燃やす「どんど焼き」や「左義長^{さぎやう}」などと呼ばれる伝統行事もあります。

1月24日～30日は、
全国学校給食週間です！



給食は、栄養バランスのとれた食事を通して、健康によい食事のとり方、地域の産業や食文化、食べ物とそれに関わる人への感謝の気持ちなど、さまざまなことを学ぶ時間です。

津南町学校給食センターでは、今年度の給食週間は、20日（月）～24日（金）に実施します。地産地消についての理解を深め、津南町産の大根をおいしく食べてほしいと願ひ、さまざまな大根メニューを取り入れました。詳しくは献立表・裏面をご覧ください。